

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年5月31日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年5月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【建屋内淡水化装置(B)スケール防止剤注入ラインの漏えい痕について】</p> <p>当社社員が、建屋内淡水化装置(A)スケール防止剤(※1)注入ラインからの漏えいの不具合をふまえ、建屋内淡水化装置(B)の同ラインを確認した結果、漏えい痕を確認。</p> <p>原因は、注入ラインのライニング(※2)の変形によるものと推定。</p> <p>ライニングの変形の原因は、調査中。</p> <p>建屋内淡水化装置(B)は点検停止中のため、起動までに修理予定。</p> <p>※1 スケール防止剤: 硫酸</p> <p>※2 ライニング: 配管内面保護のための皮膜処理</p>	GⅢ	5月27日
2	<p>【増設淡水化装置の濃縮水供給ポンプの出口ライン水抜けに伴うポンプ停止について】</p> <p>当直員が、建屋内淡水化装置(A)運転に伴い、増設淡水化装置の濃縮水供給ポンプ(A)を起動したところ、「出口流量低」警報が発生し当該ポンプ(A)の停止を確認。</p> <p>現場の系統構成を再確認後、濃縮水供給ポンプ(B)を起動したが同不具合を確認。</p> <p>流量計を確認したところ、「流量信号異常」が発生していたことを確認。</p> <p>ポンプ出口ラインの水張りを実施し、免震重要棟集中監視室にて満水を確認した後、すぐに水が抜けていることを確認。(水張り後、計器指示値が通常ゼロ指示で安定するにも関わらず、マイナス方向に振れたため。)</p> <p>原因は、ポンプ出口ラインの水が抜けたことで「流量信号異常」にてポンプが停止に至ったものと推定。</p> <p>淡水化装置(RO3-1、2)は運転中、淡水化装置(RO3-3、4)は待機中のため、汚染水処理への影響なし。</p> <p>今後、ポンプ出口ラインの水が抜けた原因を調査し、対応を検討。</p>	GⅢ	5月27日